

教科	家庭	学年	1年	(令和7年度)
----	----	----	----	---------

【教科の目標】

生活についての理解を深め、家族や家庭、衣食住、消費や環境など、生活の自立に必要な基礎的な理解を図り、それらに関わる技術を身に付ける。実践的・体験的な活動を通して、課題を見つけて解決し、考察したことを自分なりに表現することで、生涯を見通して課題を解決する力を身につける。家族や地域の人々の関わりを考え、協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫する実践的な態度を身に付ける。

【使用教材・副教材、使用教室・指導形態】

◇技術・家庭 家庭分野（東京書籍）、プリント、ファイル、タブレット

◇教室、被服室 ◇一斉授業、グループ学習指導、個人活動

【評価の観点と資料】

観点	評価基準	評価資料
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに関わる技術を身に付けている。	ワーク・プリント・作品・定期考査・課題など提出物
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	ワーク・プリント・定期考査・課題など提出物
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組むことで、振り返り改善しながら、生活を工夫、創造、実践しようとしている。	ワーク・プリント・実習レポート・課題など提出物・作品

【授業の進め方と学習のポイント】

○授業は、板書を写すだけでなく、説明をよく聞き、新しい知識を得て、自分の意見を書き足すことで知識・理解を深める。

○一斉授業やグループ学習では、発表や発言に進んで参加する。

○実験実習などの活動では、班員と協力して計画的に行う。

○実験実習などの活動では、教員の指示や被服室、調理室の使用方法に従い安全、衛生面に留意し作業する。

○提出物の期限を守る。忘れ物をしない。

○実習や授業のねらいを理解し、生活に活用させる。

○言葉を暗記するだけでなく、自分の家庭生活を振り返り生活と照らし合わせて思考・判断・表現する。

【家庭学習の進め方】

① 課題は丁寧に取り組む。その時の発見・気づきを大切にする。

② 授業で習った内容、自分で実践できることを家庭で実践し復習する。

③ 授業で学んだ内容が家庭生活や社会の中で、どのように使われ、私たちの生活を豊かにしているか、テレビやインターネットなどで、情報収集をする。また、他者の意見、情報も生活に活用させる。

④ 社会や地域・家庭生活について関心をもち、気になったことを記入し、調べる習慣を身に付ける。

【学習の基盤となる資質・能力を身に付けた生徒の育成】

校内研究に関わる検証授業 マトリックス④情報活用能力×知識技能

A 目的に応じた衣服の選択「自分らしいコーディネート」自分に似合う色を理解し、T.P.O に合わせた衣服を考えるために情報を得る。

B 被服製作「生活を豊かにするものの製作」合理的な手順や、上手に縫う方法を調べ、実践する。

C 持続可能な衣生活「衣生活に関する環境問題」衣生活について、社会の現状を見直し、課題を調べる。関連付けて持続可能な住生活「環境に配慮した住生活」人や環境に配慮した住まいの工夫について調べる。

【年間指導計画（年間 35 時間）】

週	単元名	主に学習すること	学習のねらい
1	家庭分野ガイダンス	家庭科の授業での心構え	小学校での学びを振り返り、学習の見通しをもち、3年後になりたい自分になるための課題を明らかにする。
2	A 家族・家庭生活 自分の成長と	1. 自分の成長	家族の一員として何ができるのかを考え実践することができる。
3	家族・家庭生活	2. わたしの生活と家族・家庭	さまざまな家族の形を理解する。
4		3. 家族・家庭の基本的な機能	くらしの中のひと、もの、ことの関わりを考える。
5		4. 家族を支える生活	生活の自立と共生をめざす方法を考える。
6	B 衣食住の生活	1.衣服の役割 目的に応じた衣服の着用	衣服と社会生活の関わりを理解する。
7	【衣生活】	2. 自分に似合う色	自分らしく TPO に合わせた衣服を考える。
8	目的に応じた衣服の選択	3. 自分らしいコーディネート	
9			
10	学習基盤 A	4.和服の文化	和服と洋服の違いを理解する。
11	被服製作	1. 製作の基礎・基本	○製作に必要な材料や縫い方、用具の安全な使い方の理解を図り、その技能を身につける。
12	学習基盤 B		
13			
14			
15		2. 生活を豊かにするものの製作	○合理的な手順を考え製作する。
16			○製作に必要な材料や特徴、縫い方、用具の安全な取扱いを習得する。
17			○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた製作計画を作成する。
18			
19			
20			
21	日常着の手入れと保管	1.衣服の手入れ	材料や状態に応じた衣服の手入れや保管の必要性がわかり、適切な手入れができる。
22		2.布の繊維と構成	
23			
24		3.日常着の手入れ	
25		4.補修や保管・収納	衣服の補修や収納・保管の仕方を習得する。
26	持続可能な衣生活	1.環境に配慮した衣服	衣生活に関する課題を発見し、環境に配慮した衣生活の工夫を考える。
27		2.衣生活に関する環境問題	
28	学習基盤 C		
29	B 衣食住の生活	1.住生活の課題を発見する	快適で安全な住生活の実現に向けて、課題を設定する。
30		2.住まいのはたらき	住居の基本的な機能について理解する。
31		【住生活】 住まいのはたらき	3.家族の生活と住空間のかかわり
32	安全な住まいで安全な暮らし	1.家庭内事故への備え	家庭内の事故の事例から、住環境の工夫を考える。
33		2.災害への備え	災害に備えた備蓄や災害後の住まいを考える。
34	持続可能な住生活	3.家族の安全を考えた住空間 環境に配慮した住生活	○減災のための住まいの工夫を考える。
35	学習基盤 B		○間取り図の書き方を理解する。